



発行所 〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-15オリエントビル6階  
社団法人全国牛乳流通改善協会  
TEL.03-6380-8021  
FAX.03-6380-8435  
e-mail : mail@zenkaikyou.or.jp  
URL : www.zenkaikyou.or.jp

# 新年のご挨拶



社団法人全国牛乳流通改善協会  
会長 橋本正敏

新年あけましておめでとうございます。平成二十五年度の年頭に当たり、全

国の全改協の加盟店をはじめ関係者の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、日頃、皆様方から賜りました格別のご支援、ご協力に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

東日本大震災から二年近くが経過し、津波で大きな被害を受けた地域や福島第一原発事故の避難地域等、復興の目途が見えない地域が多々ありますが、不自由な環境でも新たに前進するたくましい姿がニュースで見られるようになってきました。被災地・被災者の力強さ・たくましさを感じる次第です。あらためて、一日も早く完全復興されることを心から希望いたします。

さて、昨年を振り返ってみますと、日本経済においては、デフレからの脱



却が依然として進まず、円高・ドル安、欧州経済の不安によるユーロ安に加え、日中ビジネスの悪化等の影響により、日本を代表する大手企業の業績が軒並み落ち込み、日本経済は低迷を続けております。

また、政治においても混乱が続き、ついに年末に衆議院議員総選挙が行われる事態となり、国民生活に影響する平成二十五年度予算の年度内成立が不透明な状況となっております。しかし、暗い出来事ばかりではなく、東京スカイツリーの開業(五月)、ロンドンオリンピックでの日本選手の活躍(七・八月)、iPS細胞による山中伸弥教授のノーベル医学・生理学賞受賞(十月)等の明るいニュースもたくさんありました。

全改協においては、昨年五月の通常総会において役員改選が行われ、六名が新しく理事となった執行部が誕生いたしました。

また、改革委員会の答申を受けて、「安心・安全」や「地域社会への貢献」を盛り込んだ事業の実施、文京区から千代田区への事務所の移転、諸経費の削減等を行いました。加えて、答申の重要課題は理事会にて検討を行い、その結果は都道府県牛乳流通改善協会会長会議や「全改協だより」にてお知らせいたしました。

更に、法人移行の期限まで一年余りとなった昨年八月に「一般社団法人」の移行申請を行いました。内閣府公益認定等委員会での審査は順調に進んでおり、四月からは「一般社団法人全国牛乳流通改善協会」としてスタートできる見込みです。

一方、都道府県流改協においては、一時は仲間の脱会により流改協内の組織が混乱しました。しかし、現在は大部分の流改協で立ち直りを見せております。今後、更に団結を強める所存です。

消費者の食品に対する「安心・安全の意識」は「昨年の大震災以降高まりを見せております。このような消費者の意識の変化に直ちに対応することは、牛乳販売店にとって大変重要なことだと思っております。

牛乳の価値と効用については、社団法人日本酪農乳業協会が色々な調査・研究を行っております。また、食品

の放射能に関しては、昨年四月に厚生労働省が新基準値を設定しました。牛乳は原料乳の段階で安全性が確保されておりますので安心して飲んでいただけます。これらの事は我々を含めた酪農乳業界が一丸となって消費者に伝えなければなりません。特に、我々牛乳販売店は、日頃、お客様と接すると言「強み」があります。この「強み」を活かして牛乳の「価値・効用」に伝える必要があります。これらの情報は「全改協だより」や流改協を通してお伝えしておりますが、社団法人日本酪農乳業協会のホームページにも掲載されておりますので是非ご活用いただきたいと思っております。

## 紙面から



会長会議を開催  
理事会を開催  
平成二十四年度の全改協事業  
インフォメーション  
(二面)  
(三面)  
(四面)  
(四面)

は近年の「優良事例集」にも紹介しておりますので是非参考にさせていただきたいと思っております。現在、独居老人の安否確認や安全パトロールを実施している全改協の加盟店は多くありません。全改協においても、今年度から地域社会への貢献を意識した事業を企画しました。今後も皆様からの「意見をいただきながら継続する所存ですので、積極的な事業への参加をお願いいたします。

今年も、社団法人日本酪農乳業協会を中心に業界を挙げて、六月を「牛乳月間」とし、牛乳の消費拡大を図る活動を行います。牛乳の生・処・販の二翼を担う全改協として、この期間に行動を起こす所存ですので皆様方のご協力をお願いいたします。

新年を迎え、今年も明るく、希望の持てる良き年にしたいものであります。その実現に向けて、都道府県流改協の組織を固め、全改協の加盟店の皆様の経営内容の充実を図り、魅力のある牛乳販売店づくりを皆様とともに考え、努力し、実行して参りたいと考えておりますので、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

と致します。

\*前号の広告掲載面の順序を誤ったため、3号つづけて同じ順序での広告掲載となっております。関係者のみなさまに心よりお詫び申し上げます。

Advertisement for Morinaga products. Features '森永カルダス' (Morinaga Caldas) and 'うるおう グルコサミン' (Uruou Glucosamine). Includes product images, descriptions of benefits, and a list of ingredients.



# 全改協 平成二十四年度 全国都道府県流改協 会長会議を開催

全改協は、平成二十四年十一月十日(土)、東京 麹町のスクワール麹町にて全国都道府県流改協会長会議と、それに先立って理事会を開催しました。

## 会長会議 牛乳販売店は 最もすぐれた宅配のスタイル

### 全国の流改協の会長が一堂に

全国都道府県流改協会長会議(会長会議)は、流改協の会長が一堂に会する貴重な機会です。全改協の役員、理事、都道府県流改協の会長あわせて三十九名が出席されました。会議は、中西専務理事の開会宣言に続いて、橋本会長の挨拶で始まりまし

### 「法人移行により自主的な事業実施を目指す」

#### 橋本会長挨拶

### 「関係各方面との連携をより強固なものに」

全改協は現在、二十五年度からの一般社団法人への移行を控えた重要な時期にいる。一方我々を取り巻く社会情勢の大きな変化として、昨年度より国からの補助金がなくなったが、これは一面では事業活動に対して官庁のしびりがなくなったことであり、一般社団法人移行とあわせて、自主的な事業運営ができるきっかけとして、前向きに捉えることができる。

我々の組織の外に目を向ければ、我々全改協は、Jミルクの正会員として、



会議では、現状報告と事業の進捗状況の報告を行いました。

### 改革委員会答申への対応報告

現状報告では、昨年度出された「改革委員会」の答申への対応について、今期の役員改選から、答申による選出方法に変更したこと、全国の流改協加盟店に対して、全改協加盟店にメリットが与えられるよう、安心・安全をお届けする全改協の加盟店と非加盟店とを差別化する具体的な案が提示され、今後実現していくこと、等が示されました。

### 本年度事業の進捗

次いで、本年度の四つの事業の進捗について、事務局から説明しました。このうち事例集発行事業(「優良事例発表会」)では、前日の十一月九日の第二次審査での十二店舗の選出(四面で詳しくご報告しています)の

報告、および、第二次審査を経て来年二月六日に中央発表会を開催予定であり、各流改協会長におかれてはご出席予定をさせていただきたい旨お願いがありました。

次いで啓発事業(妊産婦への牛乳補助)については、本年度はテストケースとして、八道府県流改協に予算を配分し実施していますが、質疑の場で、この八道府県以外の流改協で、千葉県では独自に関係団体と組んで取り組み、補助対象者を五百名として同じ内容で実施している、との報告を受けました。全改協事業の重要性が会員流改協に認識され、真剣に取り組んでいただいていることあらわれです。ありがとうございます。

### 一般社団法人への移行

またこれを受けて、橋本会長より、対象とする妊産婦世帯の募集の段階で何らかの課題が出るのが予測される、についてはそれらの課題を受けて来年度以降どのような実施をするかを考え、全国展開に活かしていくつもりである、との考えが示されました。

### 関係各方面との連携の強化

次いで橋本会長から、我々全改協は、「生」処「販」三軸の一端を担うことに使命を果たしていきたい、そのために、Jミルクとの関係強化、メーカー各社との関係強化を図っていくため

にアクションを起こしていくとして、この実現のための考えが示されました。一つはJミルクとの連携の強化です。Jミルクは「生」処「販」の代表で構成されています。昨年度以降、Jミルクは、消費者に対する直接の普及事業はしないことになりました。この結果Jミルクは消費者との接点を失い、一方私たち販売店団体の役割は以前にも増して重要になりました。

Jミルクを構成する「生」処「販」の中で、販売店様を通じて実に全国五百万軒ともいわれる消費者に直接接する機会を持つのは、「販」である我々だけだからです。橋本会長からはこのことに関して、全改協がJミルクでより一層存在感を示し、Jミルクの中でも重要なポジションに在ること、をアピールできれば、今後、関係方面との事業の連携が図れる可能性があるという考えを示されました。

### 全改協会費納入にご協力を

各都道府県流改協の全改協会費の納入状況について事務局から報告しました。会費につきましては、十の流改協が未納になっておりますが、できるだけ早く納入いただきたくお願いいたします。

### 抛出金の入金状況報告

現時点での抛出金の入金状況について事務局から説明しました。入金金の進捗状況は、本年十月末までの時点で前年同期と比較して七二%の減でした。

### 全国牛乳商業組合連合会 高橋会長より

最後に、当日会議に参加された千葉県流改協の高橋会長が、全国牛乳商業組合(全乳連)の会長として、牛乳乳製品についての自販機の規制が

献していることを一層アピールできることになる、その結果、新しい時代に適合した事業を全改協として行うことができる、との考えを示されました。

事務局から補足として、消費者への情報について、Jミルクが作成しているインターネットで公開している「牛乳普及啓発リーフレット」を、全改協の加盟店から消費者に多数配布していた。ただ、販売部門としての全改協の存在価値がJミルクの中で高まることになるので、ぜひ全改協の加盟店におかれてはご協力いただきたいとの説明がありました。四面で紹介しています。ぜひご覧のうえ積極的にご利用ください。

### 質疑への応答

昨年、一部のメーカー、メーカー団体が脱退しましたが、脱退後の状況と今後の見通しについての質疑が最後に出され、橋本会長は、「加盟、脱退については会員、賛助会員の自由であり、全改協としてはいつでも復帰の窓口を開いている。なお、各都道府県の流改協にどのような販売店が加盟しているかについては、各流改協の管轄であり、全改協として関知しない」との考えを示し、関連して、「販売店は全改協の直接の会員ではないことから、現在は全改協では加盟販売店の名簿を持っていないが、情報伝達の即時性、全改協だよりの効率的な配布などの点から、将来的に名簿の作成は課題である」と述べました。

### 会議終了後は、同じスクワール

麹町内でも場所を移して懇親会が開催されました。前年、前々年と、二年続けて会長会議は折悪しく台風の影響を受け、懇談会への参加が少なめでしたが、今回は天候に恵まれ、打ち解けた雰囲気での交流が進みました。





# 全改協 平成二十四年度 第五回理事会を開催

## 全国都道府県流改協会長会議に先立って開催された理事会の内容をご報告します。

理事会は、成立に必要な定数の三分の二以上の理事の出席を得て成立しました。橋本会長の「本年度は全改協にとって、一般社団法人という新体制に新年度から移行する準備にあたる重要な年であり、理事の皆様にご協力をお願いしたい。そのためには本年度の事業を成功させることが大切。本日はこれら事業の進捗報告があるの、ご検討いただきたい」との挨拶のあと、議事に入りました。

議事は主に、改革委員会の答申への対応の検討、一部の流改協についての現状報告、本年度事業の進捗状況の報告がありました。

### 改革委員会答申への対応

昨年度出された改革委員会の答申については、理事会にて検討し、実行可能なものを実現していくこととなっております。

今回の理事会では、①全改協の名称変更 ②役員を選出方法 ③全改協の加盟店に与えるメリットについて検討しました。

### ①全改協の名称変更

組織にとってその名称は活動内容を一言で表すものであり、またその組織の第一印象に結びつく大変重要なものであるだけに、軽々と変更できるも

のではありません。手続き上も、定款の変更が必要になるなど、大がかりになります。全改協の名称については、改革委員会の答申では、「販売店(が加盟する)団体というイメージがわからない」「活動の内容も名称からはつきりわからない」という理由から、「販売店(が加盟する)団体」ということがわかるような変更を検討する余地があるとしておりますが、変更するかどうかについては理事会にて検討するとしております。

名称変更には右に書いたように定款の変更が必要です。定款を変更した場合、現在監督官庁である農林水産省の認可を受けなければなりません。一方、すでにお知らせしているとおり、平成二十五年四月一日を目標に一般社団法人への組織変更を進めているところであり、このための新しい定款案が、現行の名称のもとで、内閣府の審議を受けている段階です。このような段階で別途定款を変更するのは現実的ではありません。したがって理事会では、本件については、「名称変更の必要性は否定しないが、今後現行の名称で支障が出ると判断された時点で再度検討することにし、本年度は名称変更は行わない」という結論になりました。



②役員の出方法 改革委員会の答申を受け本年五月に行われた役員改選を機に、全改協では役員の出方法を変更しました。

具体的には、流改協の会長もしくは流改協の推薦を受けた者と全国マーク団体の代表の中から、理事会の決議を経てマーク団体が人選し、総会で決定する、という選出方法になりました。また、都道府県流改協を九つにまとめていたブロックを廃止しました。

理事会にて検討した結果、理事の選出方法については細則として明文化するに決まりました。また、ブロック制については、一部で活動がなくなり、形骸化している、全改協と流改協の間にブロックが入ることで情報伝達がスムーズに行われない等の理由から廃止が答申され、それを受けた廃止になっていきますが、廃止により近隣の都道府県流改協同士の情報交換の機会も失われたため、これによって今後不便が生じた場合には、検討のうえで復活もありうることをしました。

### 機能していない流改協への働きかけ

全国の流改協の中には、明治の脱退により事務局を担当する組織がなくなった、会員である加盟店が減った等の理由で、正常な機能をしていない流改協がいくつかあります。全改協としては、会長や、その地域から選出されている理事から働きかけを行い、流改協として活動が再開できるように復帰を促しているところです。

### 優良事例

前日に開催された優良事例発表会一次審査の結果と中央発表会の開催内容について報告いたしました。詳細は四面の記事をご覧ください。

### 「優良経営食品小売店等表彰事業」への全改協推薦基準

今回の理事会ではこれらの流改協についての働きかけの結果についての報告がありました。その結果、対象となった流改協のほとんどにおいて、機能の正常化に向けてご担当者が前向きに検討してくださっていることがわかりました。

今後とも引き続き、通常の流改協事務局機能が早期に回復するためにご協力くださいますようお願いいたします。

（財）食品流通構造改善促進機構が実施している本年度の「優良経営食品小売店等表彰事業」に対して、全改協としての推薦店舗を選出し応募したことは前号(第六十四号)の「お知らせ」でご報告しました。今年度初めて実施要項が示されたことから、本事業への全改協としての推薦基準を作成することになり、事務局から理事会に諮りました。この結果、全改協事業の一つとしてこの表彰事業への推薦を行うこととなり、推薦基準については「優良事例表彰店の中から二店を選出する」と定めました。来年度以降、この基準に従って全改協からの推薦店を選出し応募することになります。

雪印メグミルク 宅配フリーダイヤル 商品に関するお問い合わせ **0120-758-369** (受付時間:日・祝除く9:00~17:00) <http://www.meg-snow.com/takuai/>

雪印メグミルク おいしさそのままに **MEGMILK メグパワー**

内容量 100ml

カルシウム 1本に 350mg 含有

ラクトビオン酸 1本に 175mg 含有

MBP 1本に 40mg 含有

ビタミンD 1本に 2.5µg 含有

MBPは、雪印メグミルク(株)の登録商標です。

雪印メグミルク 宅配フリーダイヤル



# 平成24年度の全改協事業

本年度は全改協事業として、①事例集発行事業(牛乳販売店優良事例発表事業) ②体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験事業) ③啓発事業(妊産婦への牛乳促進) ④広報物配布事業(ミルクカレンダー) を実施しており、主な実施の内容につきましては前号(第64号)でお知らせいたしました。引き続き、本年度の全改協事業の進捗について、事例集発行事業(牛乳販売店優良事例発表事業)、体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験)についてご報告いたします。

## 事例集発行事業(牛乳販売店優良事例発表会)

去る11月9日、東京都千代田区麹町のスクワール麹町にて、事例集発行事業(牛乳販売店優良事例発表会)の第1次審査を実施しました。

経営専門家(中小企業診断士)3名と協会三役が、各都道府県から推薦された優良店20店舗を対象に審査し、この20店のうちから12店を第1次審査通過店として選出しました。

次に、これら店舗に対して経営専門家が訪問調査を実施し、この時の情報をもとに12月14日に全改協において第2次審査が行われています。この結果は今号では掲載が間に合いませんが、来年2月6日開催の中央発表会の模様と結果は次号(第66号)にて詳しくお伝えいたします。

第1次審査を通過した全改協の加盟店とその主たるマークは次のとおりです。

- (有)ファミリーネット(雪メグ:宮城県)
- (有)大道武牛乳店(森永:神奈川県)
- 森永牛乳茶屋町販売店(森永:岡山県)
- 宅配センター デスモ日立店(雪メグ:茨城県)
- フーズスプリッジ(株)(雪メグ:愛知県)
- 鶴田乳業商会(グリコ:佐賀県)
- 森永黒磯西ミルクセンター(森永:栃木県)
- (有)衣笠牧場(森永:京都府)
- 竹田ミルクセンター お米お酒のくわしま(九州乳業:大分県)
- 埼玉森永販売(株)(森永:埼玉県)
- 森永牛乳洲本販売店(森永:兵庫県)
- (株)甲斐ミルクセンター延岡(雪メグ:宮崎県)



## 体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験)

前号(第64号)でお伝えしましたとおり、本年度は4流改協で5加盟店が実施し、最終的に参加生徒は 新潟県 21名になる予定です。すでに実施のあった北海道、新潟県、岐阜県の様子をご紹介します。

### 北海道では橋本全改協会長みずから指導 地元新聞が取材に

北海道では、橋本全改協会長の店舗「(株)ハシモト」が、11月8日(木)に3名の中学生を受け入れ、実施しました。この模様は、北海道の代表的な新聞「北海道新聞」と、地元室蘭の「室蘭民報」の2紙の取材を受け、それぞれ写真入りで詳しく報じられ、全改協とその加盟店の社会貢献への取り組みが広く道内に認められる結果となりました。

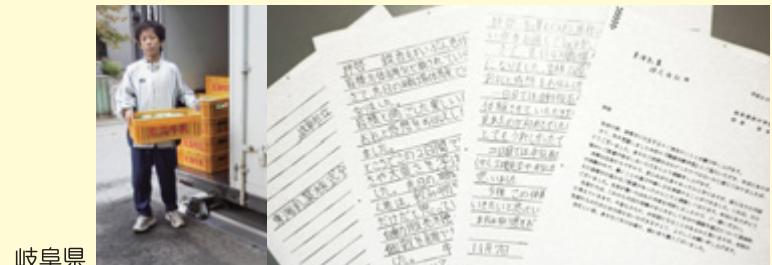


### 新潟県、岐阜県からも、体験の様子をいきいきと伝える写真が届きました。

いずれの実施道県でも、体験した中学生から受け入れ店舗にお礼状が届き、生徒たちからは仕事の大変さを実感したことが伝わってきました。彼らの勤労観・労働観を育む一助になったようです。私たちが事業の目的として意図したものは、彼らに伝わったと評価できるでしょう。



体験した生徒さんからお店に届いたお礼状



岐阜県

体験した生徒さんからお店に届いたお礼状

## インフォメーション

### 全改協のホームページリニューアル

全改協は、ホームページを移転しリニューアルしました。新しいURLは、[www.zenkaikyou.or.jp](http://www.zenkaikyou.or.jp)です。旧URLでブックマークされている場合は、新しく変更していただきますようお願いいたします。

旧ホームページとの違和感がないよう、見た目や内容はあまり変更していません。今後は、全改協だよりとの連動等、ホームページの持つ、情報伝達の早さなどの利点を活かして運営します。販売店様むけのページも、今後充実させて参りますので、折に触れてご覧ください。

また、各流改協からの情報発信の場も開く予定です。この件は、2面でお伝えした会長会議の場で、流改協会長にもご連絡済みで、流改協では承知してございますので、たとえば「こんな地域貢献を行ってお客様に喜ばれている」とか、「このような販売の工夫を行っている」等の掲載したい情報がございましたら、随時流改協事務局までお寄せください。ただし、特定の社が主催している販促活動やイベントのPR、製品の紹介などのような、商用色が強い等の場合にはご希望に添えないこともございますのでご了承ください。

### Jミルク リーフレット「ホットミルクで安眠」を作成 販売促進にお使いください

社団法人日本酪農乳業協会(Jミルク、東京都中央区)では、「業界向け情報活動事業」として、医師・栄養士・学校の先生や業界関係者(生産者、乳業者、販売店等)を対象にした情報を発信しています。

情報の内容は、①消費者の役に立つもの ②季節や社会情勢にふさわしいもの ③新しい研究結果など ④業界から消費者に伝えたいものを基準に、本年度は年6回、A4判両面カラーのリーフレットを発行します。

これらのリーフレットは、全改協の加盟店の皆様が、お客様に対して、牛乳の持つ効果、特性を説明していただき、牛乳に対する知識を高めていただいたり、牛乳に興味を持っていただいて販促・契約に結びつけていただいたりという利用をしていただくものです。

5月の『熱中症予防には適度の運動と牛乳が効果的』、7月の『栄養バランス』、9月の『骨強化』に続き、4回目の11月は『ホットミルクの安眠効果』をテーマにしたリーフレットが作成されました。牛乳の持つ精神安定効果と、暖めるとより一層その効果が増すことについて説明されています。

全改協の加盟店の皆様におかれましては、ぜひJミルクのサイト(<http://www.j-milk.jp/>)より、「便利ツール」→「Pick Up Tool」にアクセスし、ご利用ください。なお、お使いいただく際は、

- 内容の変更はご遠慮ください。
  - 牛乳乳製品の客観的データ等に基づく一般的な情報を活用いただくためのリーフレットです。特定のブランド・商品に関連させたご使用はご遠慮ください。
- 以上のご注意をお守りいただき、お使いください。

